放射光粉末回折法による 多孔性材料のガス分子吸着構造解析

大阪府立大学理学系研究科物理科学専攻 久保田 佳基 kubotay@p.s.osakafu-u.ac.jp

本日の講演の内容

1. 多孔性配位高分子とガス吸着

- 2. 粉末回折データのガス吸着その場測定
- 3. 多孔性配位高分子のガス吸着構造解析
- 4. ナノ細孔に吸着した酸素分子の磁性
- 5. ガス吸着過程の観測
- 6. ガス吸着ダイナミクス研究のための時間分解測定



SPring-8粉末材料構造解析研究会(第2回) ~ その場観察に注目した粉末材料構造解析の最前線~ ^{平成23年10月7日}(財)大阪科学技術センター 多孔性配位高分子 多孔性金属錯体

Porous Coordination Polymer (PCP) Metal-Organic Framework (MOF)

- ・高い規則性を持つナノ細孔
- ・高い設計性
- ・柔軟な骨格構造
- ・大きな細孔表面積 数百~4500m²g⁻¹
- ・常温・常圧で合成

・軽量



O. M. Yaghi, et al. Nature 423, 705 (2003) / S. Kitagawa, et al., Angew. Chem. Int. Ed. 43, 2334 (2004)

多孔性配位高分子の特徴



ピラード・レイヤー型の多孔性金属錯体



 $4 \text{\AA} \times 6 \text{\AA}$



12 Å×6 Å

多孔性配位高分子が持つ様々な機能



多孔性配位高分子のガス吸着構造解析



SPring-8 BL02B2におけるガス吸着その場測定システム



SPring-8 BL02B2におけるガス吸着その場測定システム

RIKEN BL44B2



ガス・蒸気圧力制御システム (GVPC)



イメージングプレートに記録されたメタン吸着CPL-1の粉末回折データ



多孔性配位高分子CPL-1: [Cu₂(pzdc)₂(pyz)]_nの結晶構造 (pzdc=pyrazine-2,3-dicarboxylate, pyz=pyrazine)

CPL-1 : Coordination Polymer 1 with Pillared Layer Structure



Monoclinic $P2_1/c$ a=4.71534(6)Å b=19.8280(2)Å c=10.7184(1)Å β =95.1031(10)°

酸素吸着CPL-1の粉末回折データ



MEM(Maximum Entropy Method)/Rietveld 解析



M. Takata et al. Z.Kristallogr. 216, 71 (2001)

酸素吸着CPL-1のRietveld解析のフィッティング結果

 $R_{WP} = 2.1 \%$ $R_{I} = 3.9 \%$



酸素吸着CPL-1のMEM電子密度分布

1.0 e Å ⁻³

Without guest molecules



R. Kitaura, S. Kitagawa, Y. Kubota, T. C. Kobayashi, K. Kindo, Y. Mita, A. Matsuo, M. Kobayashi, H. Chang, T. Ozawa, M. Suzuki, M. Sakata, M. Takata, *Science* **298**, 2358 (2002)

酸素分子の分子間相互作用

<u>Magnetic molecule with S = 1</u>

+ + +

Competed interaction

- 1. Electric quadrupole moment
- 2. Magnetic interaction



固体酸素の結晶構造

O₂ molecule: Simple magnetic entity



C. Uyeda, K. Sugiyama, M. Date, J. Phys. Soc. Jpn. 54, 1107 (1985)



d6=4.19A

$O_2 - O_2 ダイマーのSpin-dependent intermolecular potential$



K. Nozawa, N. Shima, K. Makoshi, J. Phys. Soc. Jpn. 71, 377 (2002)

磁場によるO2-O2ダイマーの配向の変化

 $H = -2 J S_i \cdot S_i$ J: Spin coupling parameter



CPL-1に吸着した酸素分子の配列と物性



R. Kitaura et al., Science 298, 2358 (2002)

CuCHD : Cu(II) trans-1,4-cyclohexanedicarboxylate



W. Mori, T. C. Kobayashi *et al.*, *Mol. Cryst. Liq. Cryst.* **305**, 499 (1997)

CuCHDに吸着した酸素分子および窒素分子の配列

MEM charge density of Cu-CHD with $\rm O_2$ at 90 K



CuCHDに吸着した酸素分子および窒素分子のMEM電子密度分布



 $B(O_2) = 9.4(5) Å^2$ $< u(O_2) > = 0.35 \text{ Å}$





ナノ細孔に吸着した酸素分子ダイマーのギャップパラメータ



MFI ゼオライトの結晶構造







Charge density of MFI zeolite



Straight channel

Sinusoidal channel

⁽Si_{0.998}Al_{0.002})O₄

MFIゼオライトの酸素吸着等温線と磁化率の温度変化



90Kにおける酸素吸着量によるMFIゼオライトの構造変化

24O₂/unitcell



ジグザグ型細孔内酸素分子 直線型細孔内酸素分子 120₂/unitcell 120₂/unitcell



24O₂/unitcell Monoclinic P12₁/n1 *a*=19.8272(2)Å *b*=20.0911(2)Å *b*=90.9615(9)° *c*=13.3501(1)Å V=5279.21Å³ O₂導入圧 0.018 kPa

32O₂/unitcell



<mark>ジグザグ型細孔内酸素分子</mark> 直線型細孔内酸素分子

12O₂/unitcell 20O₂/unitcell



32O₂/unitcell Orthorhombic Pnma a=19.9474(2)Å b=19.9341(2)Å c=13.3797(1)Å V=5320.29Å³ O₂導入圧 5.14 kPa

酸素吸着MFIゼオライトの粉末回折パターンの温度変化



酸素吸着MFIゼオライトのMEM電子密度分布



P12₁/n1 $b = 20.1044(3) \text{ Å} \ \theta = 90.947(2)^{\circ}$ c = 13.3830(2) Å $V = 5263.10 \text{ Å}^3$ b = 19.9341(2) Å c =13.3797(1) Å V = 5320.29 Å³

吸着分子による細孔表面の形状の変化



02

 N_2

 CH_4



ゲスト分子の形状に応答する多孔性配位高分子の骨格構造

R. Matsuda et al., J. Am. Chem. Soc. 126, 14063 (2004)



Lattice shrinks in the direction of *b* axis with adsorption

マジック・ゲート骨格構造を持つ多孔性配位高分子



吸着による結晶格子の膨張は20%以上にも及ぶ

ガス吸着過程の観測



気体の効率的吸脱着には、 "ゲスト分子に応答する柔軟な構造変化" が極めて重要





ナノ細孔へのアセチレン分子の吸着構造



アセチレン分子の密度 0.434 g cm⁻³ = 対応する圧力は 40 MPa

圧縮限界 0.2 MPa のおよそ 200倍 に相当する高密度で貯蔵されている

アセチレン吸着CPL-1のMEM電子密度分布



R. Matsuda, R. Kitaura, S. Kitagawa, Y. Kubota, R. V. Belosludov, T. C. Kobayashi, H. Sakamoto, T. Chiba, M. Takata, Y. Kawazoe, Y. Mita, *Nature* **436**, 238 (2005)

細孔内に配置された吸着活性点との水素結合による分子の捕捉

270KにおけるCPL-1のアセチレンガス吸着等温線



150kPaにおけるアセチレン吸着CPL-1の粉末回折データの温度変化



CPL-1へのアセチレン吸着過程の構造変化



Y. Kubota, M. Takata, R. Matsuda, R. Kitaura, S. Kitagawa, T. C. Kobayashi, Angew. Chem. Int. Ed. 45, 4932 (2006)

アセチレン吸着CPL-1のMEM電子密度分布



Interaction between the acetylene and pore wall is rather weaker in phase M than that in the saturated phase S.

Containing O2 atom in saturated adsorbed phase S



ガス吸着ダイナミクス研究のための時間分解X線回折データ測定

多孔性金属錯体のナノ細孔への動的ガス吸着過程を観測、可視化し、 ガス分子とナノ細孔の相互作用の本質を解明して、新しい材料を創出する。



飽和吸着相



X線自由電子レーザー計画 (国家基幹技術)

XFEL(X-ray Free Electron Laser) Project



X線自由電子レーザー施設 SACLA 2011年6月 レーザー発振(1.2Å) **"超高輝度"で"非常に干渉性の高い"光**

不可逆過程観測用時間分解X線回折データ測定法



1. 不可逆過程の観測、ワンショットで全回折データを測定可能な粉末法を採用

2. 60Hzでのストロボ写真を得るための高速の時間分解測定 ゲート付きのCCDカメラを用い、最小数ミリ秒のゲートや露光時間を想定し、 解析可能な統計精度のデータが得られるよう条件を検討

時間分解X線回折データ測定の実験レイアウト



CPL-1酸素吸着過程の時間分解回折データの測定(時間分解能1s)



粉末回折ビームラインBL02B2におけるDebye-Scherrer法



■SPring-8のX線 輝度の高いX線

微量試料からでも十分な回折強度 エネルギー分解能が高い(Δ E/E=10⁻⁴) 高角領域でも幅の細い回折線 高エネルギー(~E=35KeV,λ =0.35Å) 高い実空間分解能(d>0.3Å)

イメージングプレートを用いた透過法

デバイリングから試料の質の評価が容易。

データ全体の統計精度が高い。

すべての回折線が同時に測定されるので、入射ビームの変動の影響を受けない。 測定中の稼動部が少なく、装置による系統誤差が混入しにくい。

回折データ全体として質の高い強度データが得られ、 静的な構造を精度良く調べることが可能。

大型Debye-Scherrerカメラの各種アタッチメント



温度変化•N2ガス吹付け90 – 1000 K•Heガス吹付け15 – 100 K•He循環型クライオスタット15 – 300 K



光誘起



ガス吸着

ラマン散乱





Laser

光吸収スペクトル, 電場印加, 磁場誘起 など